

- 問1 東北地方では、8月上旬に「青森ねぶた祭」「秋田竿燈まつり」「山形花笠まつり」「仙台七夕まつり」などの大規模な祭りが集中して開催されます。これらの夏祭りの日程が、8月2日から8日にかけて互いに少しずつ重なり合うように設定されている主な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 長野県公立入試 類似)

1. 各地域の農作業が一段落する時期が異なるため、古くからの習わしに従って厳密に日程を分けているため

2. 観光客が複数の祭りを一度の旅行で巡る「周遊」を可能にし、地域全体の観光振興につなげるため

3. 祭りに参加する囃子手や踊り手の不足を補うため、周辺の市町村から互いに応援を出しやすくするため

4. 冷害などの気象災害が発生しやすい時期を避け、最も気温が高く晴天が期待できる期間に限定するため
- 問2 日本の太平洋沖合、特に東北地方の三陸海岸付近では、北から流れてくる寒流の親潮（千島海流）と、南から流れてくる暖流の黒潮（日本海流）がぶつかり合っています。このように、性質の異なる海流が合流する境界の場所を何と呼びますか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)

1. バンク

2. 大陸棚

3. 海溝

4. 潮目
- 問3 秋田県を訪れる外国人宿泊者の動向について、2017年の統計では台湾、韓国、中国（香港を含む）からの宿泊客が全体の7割以上を占めています。これらの国や地域が属する、秋田県の観光にとって最も関わりの深い地域名称はどれですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)

1. ヨーロッパ

2. 東南アジア

3. 東アジア

4. 北アメリカ
- 問4 秋田県大潟村の農業統計を全国平均と比較すると、農家一戸あたりの耕地面積が十数倍に達しており、それに伴い一戸あたりの農業産出額も非常に高い数値を示しています。このように、大潟村で大規模な機械化農業が可能となった背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)

1. 山間部の傾斜地を整備し、果樹栽培を中心に少人数で効率的な作業を行ったため。

2. 都市近郊に位置することを活かし、ビニールハウスを用いた野菜の生産に特化したため。

3. 伝統的な零細経営を維持しながら、複数の農家が共同で一つの土地を耕作したため。

4. 湖を干拓して造成された広大で平坦な土地を活かし、計画的に入植が行われたため。
- 問5 初夏から夏にかけて、東北地方の太平洋側で発生する「やませ」が農作物に与える影響と、その風の性質について説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)

1. 北東から吹き込む冷たく湿った風であり、気温の上昇を妨げ、日照不足による冷害を引き起こす。

2. 北西から吹き込む乾燥した強い風であり、冬の晴天をもたらすが、乾燥によって火災の危険性を高める。

3. 山を越えて吹き降りる高温で乾燥した風であり、急激な気温上昇をもたらし、作物を枯らしてしまう。

4. 南東から吹き込む温暖で湿った風であり、梅雨の時期に大量の雨を降らせ、洪水被害を発生させる。
- 問6 東北地方に位置する宮城県の県庁所在地であり、東北地方で唯一の政令指定都市として、地方全体の経済や行政の中枢機能を担っている都市の名称を選びなさい。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)

1. 盛岡市

2. 福島市

3. 宮城市

4. 仙台市
- 問7 東北地方の各県における農業統計に基づき、土地利用や生産状況について説明した次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、宮城県の総面積に対する耕地面積の割合は約17.2%、青森県は約15.5%です。 (2024年 宮城県公立入試 類似)

1. 宮城県は、仙台平野などの平地を有効に活用しており、総面積に対する耕地面積の割合が青森県を上回っている。

2. 岩手県は、広大な土地を活かした畜産業が極めて盛んであり、県全体の農業産出額の7割以上を畜産が占めている。

3. 秋田県と山形県は東北を代表する米どころであり、この2県だけで東北地方全体の米の産出額の半分以上を占めている。

4. 青森県は東北地方で最も総面積が大きいと、山地が多いにもかかわらず耕地面積の割合も東北6県で最大である。
- 問8 日本の各地方における農業産出額の内訳を比較した際、関東地方や近畿地方では野菜の割合が相対的に高いのに対し、ある地方では米の割合が32%を超えて三地域の中で最も高くなっています。あきたこまちなどの産地銘柄米の生産が盛んな、この地方の名称として正しいものを選択してください。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)

1. 東北地方

2. 関東地方

3. 近畿地方

4. 九州地方
- 問9 1990年代と比較して、現在の東北地方における高速道路整備の状況とその背景について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)

1. 南北の幹線道路のみを重点的に拡張し、東西方向の移動については既存の一般国道を利用する方針に転換したため、移動時間は変化していない。

2. 日本海東北自動車道や東北中央自動車道、三陸沿岸道路などの整備が進み、日本海側と太平洋側の各都市を多角的に結ぶネットワークが構築された。

3. 新幹線の利用者を増やす目的で、高速道路の建設を一時中断したため、2020年代になっても1990年代と路線の状況はほとんど変わっていない。

4. 人口減少に対応するため、1990年代よりも高速道路の総延長を縮小させ、主要都市間のみを限定的に結ぶ構造に簡略化した。
- 問10 東北地方の果樹栽培について、2015年の統計でりんごの収穫量が全国1位であり、西洋なしの収穫量でも全国2位となっている県はどこですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)

1. 岩手県

2. 福島県

3. 山形県

4. 青森県
- 問11 果樹の生産統計において、ももの収穫量が山梨県に次いで全国2位であり、東北地方を代表する産地となっている県はどこですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)

1. 山形県

2. 秋田県

3. 長野県

4. 福島県
- 問12 東北地方の太平洋側では、1980年や1993年のように、米の作況指数が著しく低下し、農業に深刻な打撃を与える年があります。このような事態を招く気象現象の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)

1. オホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東風「やませ」により、夏の気温が上がらず冷害が発生する

2. 小笠原高気圧の勢力が強まることで、太平洋側から高温で乾燥した風が吹き続け、深刻な干害が発生する

3. 発達した低気圧が日本海を通過する際、山を越えて吹き下ろす熱い風によって気温が急上昇するフェーン現象が起こる

4. シベリア高気圧から吹き出す乾燥した北西の季節風が奥羽山脈を越え、太平洋側に大雪をもたらす

答え合わせ・解説

問1	答え 2 観光客が複数の祭りを一度の旅行で巡る「周遊」を可能にし、地域全体の観光振興につなげるため	東北地方の主要な夏祭りは、近接する各県が連携して開催期間を調整しています。例えば、青森では2日から7日、秋田では3日から6日、仙台では6日から8日といった具合に日程が設定されています。このように意図的に期間を連動させることで、観光客が1回の旅行で複数の祭りを訪れる「周遊観光」を促し、宿泊客の増加や滞在時間の延長といった経済効果を地域全体にもたらす工夫がなされています。
問2	答え 4 潮目	寒流と暖流がぶつかる場所は「潮目（潮境）」と呼ばれます。この海域では、親潮が運ぶ豊富な栄養分によってプランクトンが大量に発生し、それを餌とする魚たちが集まるため、非常に豊かな漁場となります。三陸沖はその代表例として知られています。
問3	答え 3 東アジア	秋田県における外国人宿泊者の構成は、地理的に近い近隣諸国からの来訪者が中心となっています。特に韓国、台湾、中国といった地域は、秋田県の国際観光において極めて重要な市場となっており、これらを総称して東アジアと呼びます。
問4	答え 4 湖を干拓して造成された広大で平坦な土地を活かし、計画的に入植が行われたため。	大潟村は干拓地であり、もともと水底だった場所を陸地にしたため、非常に平坦で広大な農地が確保できました。この土地条件を最大限に活用するため、最初から大型機械の導入を前提とした計画的な入植が行われました。その結果、全国の多くの地域で見られる小規模な兼業農家とは対照的な、高収益で効率的な大規模経営が実現しています。
問5	答え 1 北東から吹き込む冷たく湿った風であり、気温の上昇を妨げ、日照不足による冷害を引き起こす。	やませは海上の冷たい空気を運んでくるため、東北地方の太平洋側で霧を発生させたり、気温が上がらない状態を継続させたりします。これにより、稲が十分に育たない「冷害」という災害が発生し、かつては東北地方の農業に甚大な被害を与えてきました。
問6	答え 4 仙台市	宮城県の県庁所在地は仙台市であり、東北地方最大の人口を抱える広域中心都市（地方中枢都市）です。都道府県名（宮城県）と県庁所在地名（仙台市）が異なるケースは、全国の約4割の都道府県で見られます。選択肢にある「宮城市」という都市は実在しません。
問7	答え 1 宮城県は、仙台平野などの平地を有効に活用しており、総面積に対する耕地面積の割合が青森県を上回っている。	土地利用の状況を示す指標として「総面積に対する耕地面積の割合」があります。宮城県は仙台平野という米づくりに適した平野部を持つため、この割合が約17.2%となっており、面積の大きい青森県（約15.5%）よりも高い比率で土地が耕作に利用されています。岩手県の畜産や秋田・山形の米の生産割合については、統計上そこまで極端な集中（7割超や2県で過半数など）は見られません。
問8	答え 1 東北地方	東北地方は日本の穀倉地帯と呼ばれ、広大な平野を活用した大規模な稲作が行われています。統計データにおいても、都市近郊農業が盛んで野菜の割合が高い関東や近畿と比べ、米の生産額が占める割合が非常に高いのが特徴です。冷涼な気候に適応しつつ、食味の良い「あきたこまち」や「ひとめぼれ」といった産地銘柄（ブランド米）の育成に力を入れることで、全国的な米の供給基地としての地位を築いています。
問9	答え 2 日本海東北自動車道や東北中央自動車道、三陸沿岸道路などの整備が進み、日本海側と太平洋側の各都市を多角的に結ぶネットワークが構築された。	1990年代の東北地方は、中央を南北に走る東北自動車道が主軸でしたが、その後、日本海側を通る日本海東北自動車道や、内陸を南北に走る東北中央自動車道、太平洋沿岸を貫く三陸沿岸道路などの整備が着実に進みました。これにより、南北の二重化や東西を結ぶ横断路線の増加が実現し、地域内の移動の利便性が飛躍的に向上しました。
問10	答え 4 青森県	青森県はりんごの生産量が全国の約半分を占める日本一の産地です。また、西洋なしの生産においても山形県に次いで全国2位となるなど、冷涼な気候を活かした果樹栽培が盛んに行われています。対して、西洋なしで1位、りんごで3位となるのは山形県です。
問11	答え 4 福島県	ももの栽培は、盆地特有の夏に高温多湿となる気候や水はけの良い土地が適しています。東北地方では福島盆地を中心に栽培が盛んで、全国1位の山梨県に次ぐ収穫量を誇っています。長野県も全国3位と収穫量が多いですが、東北地方の県ではありません。
問12	答え 1 オホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東風「やませ」により、夏の気温が上がらず冷害が発生する	東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から「やませ」と呼ばれる冷涼な北東風が吹き込むことがあります。この風が長期間吹き続けると、夏でも気温が上がらず、日照時間も不足します。その結果、稲の生育が妨げられる「冷害」が発生し、過去には米の収穫量が平年の半分以下になるような深刻な凶作を招きました。